

研究・調査報告書

報告書番号	担当
2 3 2	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Association between alcohol and mortality in patients with severe traumatic head injury. 重度頭部外傷患者のアルコールと死亡との関連	
執筆者	
Tien HC, Tremblay LN, Rizoli SB, Gelberg J, Chughtai T, Tikuisis P, Shek P, Brenneman FD.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Arch Surg. 2006 Dec;141(12):1185-91; discussion 1192.	
キーワード	
血中アルコール濃度(BAC)、鈍的頭部外傷、死亡、後ろ向きコホート研究	
要 旨	
<p>仮説： 入院時の血中アルコール濃度(BAC: blood alcohol concentration)は鈍的頭部外傷での重度脳損傷患者の院内死亡と関連する。</p> <p>デザイン： 後ろ向きコホート研究。</p> <p>場所： オンタリオのトロントにある研究レベル 1 外傷センター</p> <p>患者： 外傷者登録データより 1988 年 1 月 1 日から 2003 年 12 月 31 日までの鈍的頭部外傷での重度脳損傷患者 1158 人を連続的に特定した。</p> <p>介入： 積極的介入はしなかった。主な暴露調査の指標は入院時の BAC で、BAC 0(BAC:0) 少量~中等量 BAC (<230mg/dL)、高濃度 BAC (230mg/dL≤)の 3 段階に層別化した。</p> <p>結果として測定したもの： 院内死亡。</p> <p>結果： 重度頭部外傷を受けた患者では少量~中等量 BAC 群が BAC0 群に比べ死亡率が低かった (27.9%対 36.3%、P=0.008) 高濃度 BAC 群は BAC0 群に比べ死亡率が高かったが統計学的有意差はなかった(44.7%対 36.3%、P=.10)。この BAC 群別の死亡率の差は層別化データ(性別、年齢、外傷重傷度点数 (ISS: Injury Severity Scores)、輸血量、胸部 AIS(簡潔型 ISS; Abbreviated ISS)、腹部 AIS、頭部・首 AIS、入院年数))と外傷の要因(頭部外傷の機序(オートバイかそれ以外か))で調節しロジスティック回帰分析をするとすべて統計学的に有意になった。BAC0 群に比べ少量~中等量 BAC 群は死亡のオッズ比が 0.76 だった(95%信頼区間:0.52-0.98)。BAC0 群に比べ高濃度 BAC 群は死亡のオッズ比が 1.73 だった(95%信頼区間:1.05-2.84)。</p> <p>結論： 少量~中等量 BAC は鈍的な頭部外傷による重度脳損傷患者にとって有益であるかもしれない。しかし高濃度 BAC はこうした患者の院内死亡に有害であり、血行力学的な面や生理的な面でマイナスに関連しているのかもしれない。アルコールを含む液体は重度頭部外傷患者がうまく回復した後の管理に影響を及ぼすのかもしれない。</p>	